



第374号

社団法人  
徳島県環境技術センター

発行

徳島市津田海岸町2-33  
電話 (088) 636-1234(代)  
発行責任者 松原 義輔  
編集者 原岡 艶甲

## 第42回通常総会を開催

= 平成22年度事業など承認 =

県環境技術センターは、平成 23 年 5 月 25 日徳島グランヴィリオホテルで、第 42 回 (23 年度) 通常総会を開催した。総会には、会員 142 名のうち 125 名(委任状出席含む)が出席した。



飯泉知事

松原会長の挨拶のあと、飯泉徳島県知事、原秀樹徳島市長、顧問の岩浅嘉仁阿南市長、長尾哲見県議会議員からご祝辞を頂きご出席いただいている来賓の方々を紹介した。続いて、祝電を披露したあと、会長が議長となり、議事に入った。

第 1 号議案の平成 22 年度事業報告及び収支決算報告について、第 2 号議案の平成 23 年度事業計画案及び収支予算案について、第 3 号及び 4 号議案の定款及び役員報酬規則の一部変更についてを総会に諮り、全議案とも、満場異議なく承認可決された。

議案終了後、次のみなさんに会長表彰状が授与された。会長表彰等を受賞された方は次のとおり。(敬称略)

### ○会員功労者表彰

佐藤 武雄 (佐藤総合設備) / 中山 満 (有)大徳  
中野慎一郎 (中野工業株) / 藤野 久雄 (藤野水道)  
多田 久吉 (多田鉄工所)

### ○従業員表彰

吉田 幸男 (四国浄水) / 岩本 勝史 (徳島環境整備株)  
谷口 彰彦 (有)光清掃社 / 山下 茂 (株)アズマ四国  
濱田 健治 (有)山川清掃 / 松原 直矢 (株)松原電器店



## 23年度 第1回理事会開催

= 総会への提案議事を承認 =

県環境技術センターは、5 月 25 日の通常総会に提案する議案につき、5 月 11 日(水)に理事会を開催し、提出議案を決定した。

### 第 1 号議案 第 42 回通常総会の議案書について

- 1) 平成 22 年度事業報告及び収支決算報告
- 2) 平成 23 年度事業計画案及び収支予算案
- 3) 定款の一部変更について
- 4) 役員報酬規則の一部変更について

上記の 4 議案につき、理事会に諮った。議案書については資料の一部修正を求められたが、修正事項を含め、理事会は 1) ~ 4) の全ての議案を承認し、通常総会へ提案することとした。

### 第 2 号議案 会員功労者及び従業員表彰者の承認について

原案通り、会員功労者 5 名及び従業員 7 名の会長表彰を理事会で承認、決定した。なお、被表彰者は通常総会において表彰する。

### 第 3 号議案 退会者の承認について

22 年度内に 3 社、23 年 5 月に 1 社の退会届が提出されているため理事会に報告し承認を得た。

なお、退会者 4 社は次のとおり

阿 南 (有)喜久屋住宅設備工事店  
阿 南 (有)宮本ポンプ  
美 馬 立川電機  
小松島 (有)堀口設備

議案終了後、公益認定申請の経過及び 6 月に行う環境パレードや啓発活動について事務局から報告、事業への参加協力を依頼し、理事会を閉会した。



## 公益認定申請

## について

昨年 10 月に、提出しておりました、公益認定申請書につき、去る 5 月 16 日の徳島県公益認定等審議会において、審査の結果、当法人の事業及び会計等において、整備法(平成 18 年法律第 50 号)第 100 条に規定する認定の基準に適合すると認められ、知事への答申が出されましたのでお知らせいたします。

なお、新しい公益法人への移行登記は 7 月 1 日を予定しております。

## 平成 22 年度 事業及び決算報告

総会で承認された平成 22 年度事業及び決算報告は次のとおり。

**〈法定検査事業〉** 22 年度は主幹業務である法定検査の問題が、新聞や県議会等で繰り返し取り上げられ、厳しい逆風のなか、ケーブルテレビや F M 放送、環境月間に実施した環境パレードなどの啓発を積極的に実施、さらに検査督促状の発送、電話による受検勧奨や一斉検査、らくらく協議会での一括契約などさまざまな施策を講じ、検査の受検率向上に取り組んだ。その結果、7 条検査 2,854 基、11 条検査 79,984 基、計 82,838 基（前年度比 9,981 基増）の検査が実施できた。

**〈浄化槽設置届受付事業〉** 設置計画書（又は届出書）については、長引く不況の中ではあるが、2,996 基の新規浄化槽の設置届（前年度比 148 基増）を受け付けることができた。

**〈機能保証事業〉** 機能保証登録申請書の受付数は、2,251 基（前年度比 122 基減）を受付、保証対象浄化槽として登録した。

**〈講習会・研究会事業〉** 浄化槽教室の開催（44 回）や、浄化槽施工技術講習会、維持管理技術講習会、行政担当者を対象とした研修会などについても積極的に開催した。

**〈水質保全事業〉** 上勝町の植樹活動や子どもを対象とした、「あすたむらんどとくしま」や「とくしま動物園」での啓発、及び浄化槽の日のポスターコンクール、写真コンクールなどを実施し、県民に徳島の水環境保全

を呼びかけた。

**〈計量証明事業〉** 事業所排水の検査など 2,960 件（定価ベースで約 5,000 万円）の分析を実施した。

**〈その他の事業〉** 会員事業としては、地区報告会や施工技術委員会管理技術委員会や管理士会及び設備士会と協賛でメーカー講習会などを開催した。

**〈22 年度決算〉** 平成 22 年度の法人全体の当期正味財産増減額は、今期より、貸倒引当金を計上したため、△ 942,999 円となった。また、22 年度末正味財産残高は貸借対照表のとおりである。

### 貸借対照表

（平成 23 年 3 月 31 日現在）

【単位：千円】

科 目	金 額
I 資産の部	
流動資産合計	187,814
固定資産合計	149,789
その他固定資産合計	255,248
資産合計	592,851
II 負債の部	
流動負債合計	124,315
固定負債合計	153,540
負債合計	277,855
III 正味財産の部	
指定正味財産合計	0
一般正味財産合計	314,996
正味財産合計	314,996
負債及び正味財産合計	592,851

## 松原会長に会長顕彰状

### 中西理事は全浄連会長表彰

平成 23 年 5 月 26 日東京會館で、第 32 回全国浄化槽団体連合会の通常総会が開催された。

当センターから、松原会長、中西理事、伊澤検査部長が出席した。

式典では、松原会長に顕彰状、中西理事、伊澤検査部長に会長表彰状が授与された。また、増田明司氏、藍原芳典氏には感謝状がおくられた。

総会では、平成 22 年度事業報告・収支決算報告、平成 23 年度事業計画案及び収支予算案等について審議され、全議案とも満場一致で承認可決した。

総会終了後、環境省浄化槽推進室長榊林茂夫氏の「浄化槽行政の現状と課題」と題し特別講演が行われた。当センター関係の受賞者は次のとおり。

### ☆☆☆☆おめでとうございます。☆☆☆☆

（敬称略）

会長顕彰状	松原 義輔			
会長表彰状	中西 俊光	伊澤 英明		
会長感謝状	増田 明司	藍原 芳典		

の 5 名

### ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

の研究を依頼した。この装置は、既に岐阜県で設置が義務付けられているが、徳島県でも同様の措置が必要と思われることから、松原会長が、岩浅阿南市長を通じて、以前から親交があった森岡教授に相談し、今回、事務局の川人次長・伊澤検査部長・高専の卒業生である河本検査課係長の 3 名が訪問、実用化する場合の仕様等について協議した。今後、浄化槽の様々な課題について共同で研究・開発を進める予定。

## 阿南高専と浄化槽で連携

### ブロワ停止警報器の研究

4 月 21 日、県環境技術センターは、阿南工業高等専門学校に森岡教授を訪ね、浄化槽に設置されている送風機が停止した際、警報を発する装置の開発について

# BCP研究部会に参加

5月17日県環境技術センターの原岡局長と伊澤部長は、徳島大学工業会館2Fメモリアルホールで開催された、第2回目のBCP（事業継続計画）研究部会に参加した。

今年3月11日に発生した、東日本大地震による甚大な被害状況が報告される中、当法人としても南海・東南海地震に備えるための対策が不可欠であると考え、この研究会に参加したが、本年度この部会に参加した企業は3月に発生した東日本大地震の影響から、昨年の約3倍の企業35社が参加している。

第1回目ステップ1は、4月26日に開催され、

- ① BCPとは何か？
- ② 貴社が直面する災害・事故リスクは何か？
- ③ リスクの評価と被害の想定（インフラ）

などについて講義を受け、上記①～③について、当法人としての被災時の対応計画を予め策定し提出していた。

まず、講義に入る前に、徳島大学大学院の中野晋教授から、参加した企業から提出された①～③について

の事例が紹介された。

続いて、ステップ2の

- ④ 緊急時の代替え連絡拠点の確保と情報発信情報共有
- ⑤ 緊急時の対応体制と指揮命令系統
- ⑥ 緊急時の安否確認と社内緊急連絡網

について、同教授から策定方法などの詳しい説明があった。次回は、④～⑥についての資料を策定し事前に提出、次回の研究部会で発表する。



# 地区報告会開催

県環境技術センターは、5月10日・13日・17日の3日間、県内7箇所の旧支部単位で会員を集め、地区報告会を開催した。まず最初に松原会長が日頃の運営や震災義援金に対する協力に御礼を述べ、会務全般について報告した後、議事に入った。議題は、平成23年度の事業計画や予算、公益認定に関すること、また、支所ごとの受付状況や維持経費等について川人次長が説明・報告した。

その後、今後の運営方針や実施事業等について熱心に議論した。特に市町村設置型浄化槽の導入や維持管理一括契約については、賛否両論が出されたが、公益法人として、県民のメリットを最優先に考えなければならない。その中で、より合理的・効果的な方策を協議すれば良いとのことで、本年度会員を対象とした勉強会の開催を約束した。また、支所の維持については、昨年度から届出の受付が県の委託となり、届出時の手数料を廃止したことから、非常に厳しい状態となっていることを説明、会員からは、届出時に賦課金等を負担するなどして、支所の存続を求める声が大勢を占めた。



▲ 5/10  
三好地区



▲ 5/10  
美馬地区



▲ 5/13  
徳島地区



5/17 ▶  
阿南地区



◀ 5/17  
海部地区

## 平成22年度

## 業務・会計監査開催



5月2日、平成22年度の業務及び会計監査が行われた。

眞鍋監事は主に会計監査を、志摩監事は業務監査を中心に行われた。

監査では、まず業務報告を行い、続いて会計報告を行った。公益認定を睨んで、決算は20年度基準で作成した。監事からは、①事業報告と資料集を別にする、会計では、②ゼロの科目は削除すること、③過年度修正額は、科目に含めることなどの指摘を受けたため、修正し、理事会に提案することとした。



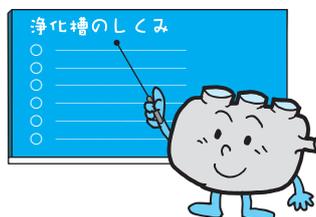
## 「みなみから届ける環づくり会議」に参加

県南地域で環境保全活動に取り組む「みなみから届ける環(わ)づくり会議」第2回幹事会が、5月25日、阿南工業高等専門学校創造テクノセンターにて開催され、県環境技術センターも活動に参加することとなった。

この会議は、南部総合県民局管内において、産・官・学・民の約20団体が一体となって、地域の環境保全活動を行うもので、交通・水質・竹林・協働の各WG(ワーキンググループ)に分かれて活動している。

センターはその中で、水質WGに参加し、地域の水環境の保全を中心として活動する。

平成23年度の水質WGの活動計画としては、阿南市立橘小学校において環境学習を行う予定であり、当センターはその中で、浄化槽学習を担当することになると思われる。



## 水質計量便り

新緑の季節です( ^▽^ )

あちらこちらで、田植えをする姿が見られますね。小さな苗が風に吹かれ、蛙が飛び込む姿を見ると、小学生の頃に田んぼで遊びながら帰ったことを思い出します。

さて先日、某企業の方と名刺交換する機会があったのですが「実はこの名刺、石灰岩からできています。」と説明して頂きました。

はて？

見た目はまったく石灰岩って感じではなく、紙なんです。確かに破れにくく、すごくしっかりしていました。

これはストーンペーパーと呼ばれるもので、最近環境に優しいことで取り上げられています。

もちろんその名のとおり、主原料は石灰石とポリエチレンで、木材パルプは使用していません。ゆえに森林を伐採する必要が無く、さらに、製造過程でもほとんど水を必要としないため、汚水が出ずに水質汚染を防ぐことができます。

おまけに、製造時等のCO2発生量が少なく、地球温暖化にもやさしいということで、すでに、環境への取り組みに熱心な企業ではさまざまなシーンで取り入れられているようです。

紙の特性として、破れにくく、水に強いということで、耐久性や防水性が必要な印刷物には、もってこいでしょう。

一方、新しい試みとして石灰を消石灰に変える事により、抗菌性等も期待されるという事で、食品や医療分野など、新しい分野で需要が広がるかもしれませんね。

by koizumi

## 事務局だより

### 法定検査のお知らせ

次の日程で法定検査を実施します。

#### ○11条検査

日程1：平成23年6月23日～7月11日

地区：阿南市・那賀町

日程2：平成23年7月12日～7月26日

地区：阿波市・吉野川市・美馬市・つるぎ町

#### ○7条検査

日程1：平成23年6月13日～6月24日

地区：阿南市・那賀町

日程2：平成23年6月27日～7月1日

地区：小松島市・勝浦郡

日程3：平成23年7月4日～7月22日

地区：徳島市内

